会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和2年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第2回ICT活用研修WG |
| 開催日時 | 令和2年10月27日（火）　15時30分～17時30分 |
| 場所 | 学校法人麻生塾　（オンライン会議併用） |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾 委　　　員：猪俣　昇、岡村　慎一、岩切　直子、合田　美子長瀬　あゆみ、中田　明子(オンライン参加)　　 計 7名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　 計 1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 合計 8名 |
| 議題等 | 1. アンケート調査状況説明

・アンケート対象…全専研会員校約130校、その他約80校。・現在は、アンケートの依頼状を作成、Google フォームでアンケートを作成したところ。・全専研会員校向けでは、回答者を「指導上成果を特に挙げていらっしゃる先生」を依頼分に加え、キーマンにつなげやすくした。・全専研会員校以外は、依頼前に打診し、返信があったところのみとする。1. ヒアリング対象校について

・アンケートの回答内容で、ヒアリング対象校を追加する。・ヒアリング対象校は、全専研会員校以外は技術系である程度ピックアップしており、全専研会員校6校（委員所属校含む）、その他6校くらいを予定している。・アンケート期限は11月13日だが、結果を待たずにヒアリングを並行する。・ヒアリング対象校は、選定の理由、分野の種別を考慮し決定する。・ヒアリング時は、授業見学も含め、その映像もいただけると良い。1. ヒアリング項目について

・アンケートの回答内容に応じるが、実践している授業の実施理由、課題　などを用意すると良い。・学力、能力、個性それぞれに対しての問題をどのように抽出しているか、またそれに対してそれぞれどのような対応をしているのか、明らかにしたい。・ツールの使用方法で問題への対応も見えてくるのでは。・学校規模、教員の経験年数等どのように標準モデルに落とし込めるか。・焦点は、ICTを使用したアダプティブラーニングを推進する中で、個別の情報収集方法、学習領域の向上にどのようにアプローチできるか。1. スケジュール確認

・第3回ICT活用研修WG…11月30日（月））13：00～15:00　@新潟（オンライン併用） |
| 配布資料 | ・アンケート調査\_教務ご担当者様向け・アンケート対象\_全専研以外・20201016\_アンケート |

以上